

学校コード F138110110382

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前相談

注2

愛媛大学大学院 理工学研究科 理工学専攻（博士前期課程）

【事前相談】 設置に係る設置計画履行状況報告書 （改正前大学設置基準適用）

国立大学法人愛媛大学
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務部評価IR課
職名・氏名	評価IR課長 織田 隆司
電話番号	089-927-9012
（夜間）	089-927-9012
e-mail	hyouka@stu.ehime-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

理工学研究科

<理工学専攻（博士前期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	64
7. その他全般的事項	66

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人愛媛大学

(2) 大学名

愛媛大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒790-8577
愛媛県松山市文京町3番
(〒790-8577
愛媛県松山市道後樋又10番13号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ニシナ ヒロシゲ) 仁科 弘重 (令和3年4月)		
理事	(ヤヒロ ヒデノリ) 八尋 秀典 (令和3年4月)		
研究科長	(タカハシ リョウジ) 高橋 亮治 (令和5年4月)		
専攻長	(マツウラ マサヤ) 松浦 真也 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
理工学研究科 理工学専攻 修士(理学) 修士(工学) 修士(数理情報学)	理学関係 工学関係	2 年	250 人	2年次 0 人 3年次 - 人 4年次 - 人	500 人	-	(基礎となる学部等) 理学部 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期						
A 入学定員	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	248人					定員数…春季、その他の学期合わせて248名 令和5年度に地域レジリエンス学環(研究科等連係課程実施基本組織)を設置。 令和5年度以降の入学定員(250人)に、地域レジリエンス学環の入学定員(2人)を内数として含む。
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	291					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	288					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	267					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	260					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.04					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260	0	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[4]	[0]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	260		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[4]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(0)	(-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	260人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{260} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	記 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	目 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
アジア防災学特別 プログラム 専門科目	分散処理システム特論	1前	2			1	1					
	インターンシップ	1・2	1			5	3	1	1			
	アジア防災学セミナーA	1通	4			6	1					
	アジア防災学セミナーB	2通	4			6	1					
	アジア防災学特別実験・実習	2通	2			6	1					
	小計(19科目)	—	10	31	0	17	10	2	4	0	0	
地域エンジニア養成プログラム 産業基盤・社会基盤共通科目 マネジメント基礎科目	データサイエンス概論	1前	1			3	1		1			
	SDGs概論	1前	1			2					6	
	インターンシップ	1・2	1			5	3	1	1			
	安全衛生管理概論	1前	1			5	1		1			
	化学物質管理の基礎知識	1・2前	1			2					3	
	リーダーシップの理論と実践	1後	1			1					1	
	プロジェクトマネジメント概論	1前	1			1					1	
	MOT特論	2前	1			2					1	
	応用数学特論1A	1前	2			1						
	応用数学特論1B	1前	2			1						
	応用数学特論2A	1後	2			1						
	応用数学特論2B	1後	2					1				
	小計(12科目)	—	0	16	0	17	8	3	2	0	10	
地域エンジニア養成プログラム 専門科目 フィールド	センシングと応用	1前	2			15	8	1	2			
	地域産業工学概論	2前	2			11	1				1	
	工場見学1	1後	1			10	2					
	工場見学2	2後	1			10	2					
		小計(4科目)	—	6	0	0	22	8	1	2	0	1
地域エンジニア養成プログラム 専門科目 自己デザイン科目	信頼性工学概論	1・2前	2			1						
	安全工学概論	1・2後	2								1	
	自動制御概論	1・2前	2			1						
	船舶海洋工学概論	1・2後	2			1						
		小計(4科目)	—	4	4	0	3	0	0	0	0	1
地域エンジニア養成プログラム 専門科目 実践科目	地域連携プロジェクト研究1	1後	2			10	2					
	地域連携プロジェクト研究2	2後	2			10	2					
	地域産業インターンシップ	1前	2			1						
		小計(3科目)	—	6	0	0	10	2	0	0	0	
	合計(241科目)	—	39	397	0	75	72	10	31	0	36	

卒業要件及び履修方法

【産業基盤プログラム】
下記の要件を満たす30単位以上を修得し、学位論文審査及び最終試験に合格すること。
(1)専攻共通科目7単位を修得している。
(2)プログラム共通科目6単位以上(科目群Aから2単位以上、科目群Bから3単位以上)を修得している。
(3)専攻する分野の専門科目14単位以上を修得している。
(注)理工学研究科他のプログラム、または他の研究科の授業科目の修得単位を修了要件に加えることができる。

【社会基盤プログラム】
下記の要件を満たす30単位以上を修得し、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。
(1)専攻共通科目7単位を修得している。
(2)プログラム共通科目6単位以上(科目群Aから2単位以上、科目群Bから3単位以上)を修得している。
(3)専攻する分野の専門科目16単位以上を修得している。
(注)理工学研究科他のプログラム、または他の研究科の授業科目の修得単位を修了要件に加えることができる。

【数理工学プログラム】
下記の要件を満たす30単位以上を修得し、学位論文審査及び最終試験に合格すること。
(1)専攻共通科目7単位を修得している。
(2)プログラム共通科目10単位以上(基盤科目から数理工学基礎(2単位)を含む4単位以上、実践科目から数理工学セミナーA、B(各2単位、計4単位)を含む6単位以上)を修得している。
(3)専攻する分野の専門科目6単位以上を修得している。
(注)理工学研究科他のプログラム、または他の研究科の授業科目の修得単位を修了要件に加えることができる。

【自然科学基盤プログラム】
下記の要件を満たす30単位以上を修得し、学位論文審査及び最終試験に合格すること。
(1)専攻共通科目7単位を修得している。
(2)プログラム共通科目12単位以上を修得している。
(3)専攻する分野の専門科目6単位以上を修得している。
(注)理工学研究科他のプログラム、または他の研究科の授業科目の修得単位を修了要件に加えることができる。

【アジア防災学特別プログラム】
下記の要件を満たす30単位以上を修得し、学位論文審査及び最終試験に合格すること。
(1)専攻共通科目7単位を修得している。
(2)専門科目23単位以上を修得している。
(注)理工学研究科他のプログラム、または他の研究科の授業科目の修得単位を修了要件に加えることができる。

【地域エンジニア養成プログラム】
下記の要件を満たす30単位以上を修得し、特定の課題についての研究の成果又は学位論文審査及び最終試験に合格すること。
(1)専攻共通科目7単位を修得している。
(2)産業基盤・社会基盤共通科目2単位以上を修得している。
(3)専門科目16単位以上を修得している。
(注)理工学研究科他のプログラム、または他の研究科の授業科目の修得単位を修了要件に加えることができる。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 「1ページ目」には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「【臨地実務実習】による授業科目には「【臨】」、

「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

・ 教員の退職、昇任により、「科学・技術英語」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」へ変更
・ 教員の退職、昇任により、「アカデミックプレゼンテーション」の専任教員等の配置を「教授75」から「教授82」、「准教授72」から「准教授68」、「講師10」から「講師11」、「助教31」から「助教25」に変更
・ 教員の退職、昇任により、「修士特別研究1」の専任教員等の配置を「教授75」から「教授82」、「准教授72」から「准教授68」、「講師10」から「講師11」、「助教31」から「助教25」に変更
・ 教員の退職、昇任により、「修士特別研究2」の専任教員等の配置を「教授75」から「教授82」、「准教授72」から「准教授68」、「講師10」から「講師11」、「助教31」から「助教25」に変更
・ 教育課程の充実のため、「インクルーシブ社会実現に向けて」を産業基盤プログラムと社会基盤プログラムと地域エンジニア養成プログラムの配当年次「1・2前」に追加、専任教員等の配置を「教授1」、「兼任・兼任1」に追加
・ 教員の昇任により、「ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教2」から「助教1」に変更
・ 教育課程の充実のため、「ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更
・ 教育課程の充実のため、「ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更
・ 教員の昇任により、「センシングと応用」の専任教員等の配置を「教授15」から「教授16」、「助教2」から「助教1」に変更
・ 教員の昇任により、「イタターニング」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」、「講師1」から「講師0」に変更
・ 教員の退職により、「安全衛生管理概論」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更
・ 教員の昇任により、「DS/AI活用PBL演習1」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授4」から「准教授3」に変更
・ 教員の昇任により、「DS/AI活用PBL演習2」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授4」から「准教授3」に変更
・ 教員の昇任により、「応用数学特論1A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更
・ 教員の昇任により、「応用数学特論2B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」に変更
・ 教員の昇任により、「知能機械システム学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更
・ 教員の昇任により、「知的制御システム特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「教授1」、「講師1」から「講師0」に変更
・ 教員の昇任により、「先端塑性工学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更
・ 教員の昇任により、「先端材料学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更
・ 教員の昇任により、「国際交流特別活動」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授10」、「准教授7」から「准教授4」に変更
・ 教員の昇任により、「材料評価技術概論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教2」から「助教1」に変更
・ 教員の昇任により、「材料評価技術実習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教2」から「助教1」に変更
・ 教育課程の充実のため、「有機化学特論1」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更
・ 教育課程の充実のため、「海外短期留学」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更
・ 教育課程の充実のため、「応用化学特別演習1」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更
・ 教育課程の充実のため、「応用化学特別演習2」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更
・ 教育課程の充実のため、「応用化学セミナー1」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更
・ 教育課程の充実のため、「応用化学セミナー2」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更
・ 教員の昇任により、「社会基盤学特論」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」、「准教授2」から「准教授0」に変更
・ 教員配置の見直しのため、「ICT社会論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任1」に変更。
・ 教員の退職により、「社会基盤デザイン原理」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更
・ 教員の退職により、「固体数値シミュレーション」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更
・ 教員の昇任により、「生物多様性と人間活動」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授0」に変更
・ 教員の昇任により、「システム工学論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「教授1」、「助教1」から「助教0」に変更
・ 教員の昇任と退職により、「環境建設工学ゼミナール1」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教3」から「助教2」に変更
・ 教員の昇任と退職により、「環境建設工学ゼミナール2」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「助教3」から「助教2」に変更
・ 教員の昇任により、「電子回路応用特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「助教1」から「助教0」に変更
・ 教員の昇任により、「高電圧工学特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更
・ 教員の昇任により、「半導体デバイス特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更
・ 教員の昇任により、「デジタル信号処理特論」の専任教員等の配置を「准教授0」から「教授1」、「助教1」から「助教0」に変更
・ 教員の昇任により、「電気電子工学ゼミナール1」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」、「准教授6」から「准教授5」、「助教1」から「助教0」に変更
・ 教員の昇任により、「電気電子工学ゼミナール2」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授7」、「准教授6」から「准教授5」、「助教1」から「助教0」に変更
・ 教員配置の見直しのため、「プログラミング基礎」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授0」から「准教授1」に変更。
・ 教員の昇任により、「数理情報セミナーA」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授14」、「准教授12」から「准教授11」に変更。
・ 教員の昇任により、「数理情報セミナーB」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授14」、「准教授12」から「准教授11」に変更。
・ 教員の昇任により、「数理情報セミナーC」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授14」、「准教授12」から「准教授11」に変更。
・ 教員の昇任により、「数理情報セミナーD」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授14」、「准教授12」から「准教授11」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「代数学概論A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「代数学概論B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「幾何学概論A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「幾何学概論B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「応用数理情報概論A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授2」から「准教授4」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「応用数理情報概論B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授1」から「准教授4」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「代数学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「位相数学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「助教0」から「助教1」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「幾何学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「解析学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」、「助教0」から「助教1」に変更。
・ 教員配置の見直しのため、「応用数理特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「准教授0」から「准教授2」に変更。
・ 教員の昇任および退職により、「高等ゼミナールA」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授23」、「講師0」から「講師3」、「助教18」から「助教14」に変更。
・ 教員の昇任および退職により、「高等ゼミナールB」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授23」、「講師0」から「講師3」、「助教18」から「助教14」に変更。
・ 教員の昇任および退職により、「高等ゼミナールC」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授23」、「講師0」から「講師3」、「助教18」から「助教14」に変更。
・ 教員の昇任および退職により、「高等ゼミナールD」の専任教員等の配置を「教授22」から「教授23」、「講師0」から「講師3」、「助教18」から「助教14」に変更。
・ 教員の昇任により、「量子化学特論B」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・ 教員の昇任により、「進歩形態学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
・ 教員の昇任により、「進歩形態学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・ 教員の昇任および退職により、「生物学課題実験B」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、「准教授4」から「准教授3」、「講師0」から「講師1」、「助教4」から「助教3」に変更。
・ 教員の昇任および退職により、「生物学課題実験A」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」、「准教授4」から「准教授3」、「講師0」から「講師1」、「助教4」から「助教3」に変更。
・ 教員の退職により、「アジア防災学セミナーA」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更
・ 教員の退職により、「アジア防災学セミナーB」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更
・ 教員の退職により、「アジア防災学特別実験・実習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更
・ 教員の昇任により、「工場見学1」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」、「准教授2」から「准教授1」に変更
・ 教員の昇任により、「工場見学2」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」、「准教授2」から「准教授1」に変更
・ 教員の昇任により、「地域連携プロジェクト研究1」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」、「准教授2」から「准教授1」に変更
・ 教員の昇任により、「地域連携プロジェクト研究2」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」、「准教授2」から「准教授1」に変更

(注) 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、

授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	221 科目	0 科目	241 科目	20 科目 []	222 科目 [1]	0 科目 []	242 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	固体数値シミュレーション	2	1	専門	選択	教員の退職により開講できないため。2年次に開講予定。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>・ 学生への時間割の通知の際に併せて未開講及びその代替措置について周知を行う。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{241} = \boxed{0.41}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	321,266 m ²	0 m ²	0 m ²	321,266 m ²			
	運動場用地	79,745 m ²	0 m ²	0 m ²	79,745 m ²			
	小 計	401,011 m ²	0 m ²	0 m ²	401,011 m ²			
	そ の 他	4,257,149 m ²	0 m ²	0 m ²	4,257,149 m ²			
	合 計	4,658,160 m ²	0 m ²	0 m ²	4,658,160 m ²			
(2) 校 舎	専 用	220,539 m ²	0 m ²	0 m ²	220,539 m ²			
	(220,539 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(220,539 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 施設整備によるもの (5)		
	145 132室	89 93室	561 558室	31 32室 (補助職員 0人)	7 9室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の退職等のため(5)		
	理工学研究科理工学専攻(博士前期課程)		187 188 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用部分を含む 施設整備によるもの (5)
	理工学研究科 理工学専攻(博士前期課程)	1,127,466 [322,765] (1,128,057 +127,466 [321,839 322,765])	23,707 [7,781] (23,557 23,707 [7,596 7,784])	4,029 [2,415] (3,870 4,029 [2,216 2,415])	6,978 (7,035 6,978)	12,269 (12,414 12,269)	(1)	
	計	1,127,466 [322,765] (1,128,057 +127,466 [321,839 322,765])	23,707 [7,781] (23,557 23,707 [7,596 7,784])	4,029 [2,415] (3,870 4,029 [2,216 2,415])	6,978 (7,035 6,978)	12,269 (12,414 12,269)	(1)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 施設整備によるもの (5)	
	10,615 m ²		979 989		782,556 784,833			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	10,486 m ²		武道場1、弓道場1、テニスコート22面、水泳プール4基					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	千円
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	千円
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛大学									平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
法学部	4	365	3年次 30	1520	-	1.03	-	1.07	1.03	-	昭和43	-					
人文社会学科 昼間主コース	4	275	3年次 10	1120	学士 (法学・政治学、学術、人文学)	1.02	-	1.05	1.02	-	平成28	愛媛県松山市文京町3番					
人文社会学科 夜間主コース	4	90	3年次 20	400	学士 (法学・政治学、人文学)	1.05	-	1.11	1.05	-	平成28	同上					
教育学部	4	160	-	640	-	1.02	-	1.06	1.05	-	昭和24	-					
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士 (教育学)	1.02	-	1.06	1.05	-	平成11	愛媛県松山市文京町3番	令和2年度から入学定員増(20)				
社会共創学部	4	180	-	720	-	1.03	-	1.05	1.03	-	平成28	-					
産業マネジメント学科	4	70	-	280	学士 (社会共創学)	1.02	-	1.06	1.02	-	平成28	愛媛県松山市文京町3番					
産業イノベーション学科	4	25	-	100	学士 (社会共創学)	1.03	-	1.03	1.02	-	平成28	同上					
環境デザイン学科	4	35	-	140	学士 (社会共創学)	1.03	-	1.05	1.03	-	平成28	同上					
地域資源マネジメント学科	4	50	-	200	学士 (社会共創学)	1.04	-	1.05	1.04	-	平成28	同上					
理学部	4	225	-	900	-	1.05	1.05	1.12	1.06	-	昭和43	-					
理学科	4	225	-	900	学士 (理学)	1.05	1.05	1.09	1.04	-	平成31	愛媛県松山市文京町2番5号					
医学部	-	170	2年次 5 3年次 10	945	-	-	-	-	-	-	昭和48	-					
医学科	6	110	2年次 5	685	学士 (医学)	1.00	-	1.01	1.00	令和5	昭和48	愛媛県東温市志津川454	令和5年度入学定員増(15)				
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士 (看護学)	1.00	-	0.96	-	-	平成6	同上					
工学部	4	500	3年次 10	2020	-	1.01	-	1.05	1.01	-	昭和24	-					
工学科	4	500	3年次 10	2020	学士 (工学)	1.01	-	1.03	1.01	-	平成31	愛媛県松山市文京町3番					
農学部	4	170	3年次 10	700	-	1.05	-	1.09	1.06	-	昭和29	-					
食料生産学科	4	70	3年次 5	290	学士 (農学)	1.06	-	1.11	1.07	-	平成28	愛媛県松山市榑味3丁目5番7号					
生命機能学科	4	45	3年次 2	184	学士 (農学)	1.04	-	1.05	1.02	-	平成28	同上					
生物環境学科	4	55	3年次 3	226	学士 (農学)	1.03	-	1.08	1.07	-	平成28	同上					
大学全体	-	1770	2年次 5 3年次 60	7445	-	-	-	-	-	-	-	-					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院理工学研究科理工学専攻（博士前期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授(研究科長)	高橋 寛 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 計算機システム概論A※ 計算機システム概論B※ 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	教授	黄木 景二 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 材料強度学【隔年】 国際交流特別活動 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	岡本 伸吾 (63) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 システム動力学【隔年】 国際交流特別活動
専	教授	柴田 論 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 現代制御理論【隔年】 国際交流特別活動
専	教授	高橋 学 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 信頼性工学概論 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 寛 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 計算機システム概論A※ 計算機システム概論B※ 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	教授	黄木 景二 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 インクルーシブ社会実現に向けて センシングと応用※ 材料強度学【隔年】 国際交流特別活動 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	岡本 伸吾 (63) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 システム動力学【隔年】 国際交流特別活動
専	教授	柴田 論 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 現代制御理論【隔年】 国際交流特別活動
専	教授	高橋 学 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 信頼性工学概論 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田中 進 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 インターンシップ 船舶操縦制御特論【隔年】 船舶海洋工学概論 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2 地域産業インターンシップ
専	教授	豊田 洋通 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 安全衛生管理概論※ ものづくり工学特論1 (機械工学特別講義1) ものづくり工学特論2 (機械工学特別講義2) 先端加工学【隔年】 国際交流特別活動 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	中原 真也 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 SDGs概論※ センシングと応用※ 燃焼工学【隔年】 先端加工学【隔年】 国際交流特別活動 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	野村 信福 (58) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 統計熱力学【隔年】 国際交流特別活動
専	教授	保田 和則 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 粘性流体力学 国際交流特別活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田中 進 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 インターンシップ 船舶操縦制御特論【隔年】 船舶海洋工学概論 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2 地域産業インターンシップ
専	教授	豊田 洋通 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 安全衛生管理概論※ ものづくり工学特論1 (機械工学特別講義1) ものづくり工学特論2 (機械工学特別講義2) 先端加工学【隔年】 国際交流特別活動 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	中原 真也 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 SDGs概論※ センシングと応用※ 燃焼工学【隔年】 先端加工学【隔年】 国際交流特別活動 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	野村 信福 (58) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 統計熱力学【隔年】 国際交流特別活動
専	教授	保田 和則 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 粘性流体力学 国際交流特別活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 智規 (52) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 自動制御概論 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	青野 宏通 (59) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 安全衛生管理概論※ ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 無機機能材料工学特論 地域産業工学概論※
専	教授	板垣 吉晃 (52) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 固体表面化学特論 機能材料工学セミナー 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	井堀 春生 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 電気電子物性工学特論 機能材料工学セミナー 機能材料工学特別講義1 機能材料工学特別講義2
専	教授	小林 千悟 (52) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 材料組織デザイン工学特論 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 智規 (52) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 自動制御概論 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	青野 宏通 (59) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 安全衛生管理概論※ ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 無機機能材料工学特論 地域産業工学概論※
専	教授	板垣 吉晃 (52) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 固体表面化学特論 機能材料工学セミナー 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2 機能材料工学特別講義1 機能材料工学特別講義2
専	教授	井堀 春生 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 電気電子物性工学特論 機能材料工学セミナー
専	教授	小林 千悟 (52) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 材料組織デザイン工学特論 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 全 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 光物性工学特論
専	教授	武部 博倫 (60) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ ガラス・スラグ工学特論
専	教授	藪谷 智規 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 繊維・高分子材料評価特論
専	教授	朝日 剛 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 物理化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	井原 栄治 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 高分子化学特論1 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 全 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 光物性工学特論
専	教授	武部 博倫 (60) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ ガラス・スラグ工学特論
専	教授	藪谷 智規 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 繊維・高分子材料評価特論
専	教授	朝日 剛 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 物理化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	井原 栄治 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 高分子化学特論1 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澤崎 達也 (54) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論2※ 生物化学研究方法論1※ 生物化学研究方法論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	高井 和幸 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物工学特論【隔年】※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	林 実 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		研究倫理特論 科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 化学物質管理の基礎知識※ ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 有機化学特論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	堀 弘幸 (63) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論1※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澤崎 達也 (54) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論2※ 生物化学研究方法論1※ 生物化学研究方法論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	高井 和幸 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物工学特論【隔年】※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	林 実 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		研究倫理特論 科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 化学物質管理の基礎知識※ ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 有機化学特論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	堀 弘幸 (63) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論1※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松口 正信 (61) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 物理化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	御崎 洋二 (62) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 有機化学特論1※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	八尋 秀典 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 無機化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	岡村 未対 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ インターンシップ 防災・減災工学 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松口 正信 (61) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 物理化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	御崎 洋二 (62) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 有機化学特論1※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	八尋 秀典 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 無機化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	教授	岡村 未対 (58) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ インターンシップ 防災・減災工学 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中畑 和之 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 社会基盤学特論※ 固体数値シミュレーション※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	Netra Prakash Bhandary (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 社会基盤学特論※ 防災・減災工学 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習
専	教授	日向 博文 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 環境動態シミュレーション※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習
専	教授	松村 暢彦 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 SDGs概論※ 地域マネジメント論※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	教授	森脇 亮 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 安全衛生管理概論※ 新エネルギーと都市デザイン 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中畑 和之 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 社会基盤学特論※ 固体数値シミュレーション※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	教授	Netra Prakash Bhandary (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 社会基盤学特論※ 防災・減災工学 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習
専	教授	日向 博文 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 環境動態シミュレーション※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習
専	教授	松村 暢彦 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 SDGs概論※ 地域マネジメント論※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	教授	森脇 亮 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 安全衛生管理概論※ 新エネルギーと都市デザイン 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安原 英明 (47) <令和5年4月> Ph. D. (米国)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 社会基盤デザイン原理 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習
専	教授	吉井 稔雄 (58) <令和5年4月> 博士 (工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 社会基盤学特論※ システム工学論※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	教授	渡邊 幸三 (46) <令和5年4月> 博士 (工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 生物多様性と人間活動※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	教授	岡本 好弘 (62) <令和5年4月> 博士 (工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 デジタル信号処理特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	教授	門脇 一則 (57) <令和5年4月> 博士 (工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 電気回路応用特論 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	教授	下村 哲 (63) <令和5年4月> 理学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 電気電子材料特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2 地域産業工学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉井 稔雄 (58) <令和5年4月> 博士 (工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 社会基盤学特論※ システム工学論※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	教授	渡邊 幸三 (46) <令和5年4月> 博士 (工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 生物多様性と人間活動※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	教授	岡本 好弘 (62) <令和5年4月> 博士 (工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 デジタル信号処理特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	教授	門脇 一則 (57) <令和5年4月> 博士 (工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 電気回路応用特論 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	教授	下村 哲 (63) <令和5年4月> 理学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 電気電子材料特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2 地域産業工学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	神野 雅文 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ インターンシップ 社会基盤学特論※ プラズマ工学特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	教授	都築 伸二 (62) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 社会基盤学特論※ 安全衛生管理概論※ 情報通信システム特論 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	教授	川原 稔 (60) <令和5年4月> 博士(情報学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 情報基盤システム特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	教授	小林 真也 (60) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 システム開発特別演習 マーケティングとビジネスモデル特別講義 分散処理システム特論 発展的ICT総合科目1 発展的ICT総合科目2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習
専	教授	二宮 崇 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 データサイエンス概論※ DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 人工知能概論A 人工知能概論B 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	神野 雅文 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ インターンシップ 社会基盤学特論※ プラズマ工学特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	教授	都築 伸二 (62) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 社会基盤学特論※ 安全衛生管理概論※ 情報通信システム特論 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	教授	川原 稔 (60) <令和5年4月> 博士(情報学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 情報基盤システム特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	教授	小林 真也 (60) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 システム開発特別演習 マーケティングとビジネスモデル特別講義 分散処理システム特論 発展的ICT総合科目1 発展的ICT総合科目2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習
専	教授	二宮 崇 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 データサイエンス概論※ DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 人工知能概論A 人工知能概論B 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野口 一人 (61) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ネットワークシステム特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	教授	樋上 喜信 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 安全衛生管理概論※ 研究倫理特論 ICT社会論※ 計算機システム特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	教授	尾國 新一 (43) <令和5年4月> 博士(理学)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 幾何学特論
専	教授	SHAKHMATOV DMITRI BORISOVICH (61) <令和5年4月> P h. D. (ロシア)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 幾何学概論B【隔年】※ 位相数学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野口 一人 (61) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ネットワークシステム特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	教授	樋上 喜信 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 安全衛生管理概論※ 研究倫理特論 ICT社会論※ 計算機システム特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	教授	尾國 新一 (43) <令和5年4月> 博士(理学)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 幾何学特論 代数学概論A【隔年】 代数学概論B【隔年】 幾何学概論A【隔年】 幾何学概論B【隔年】
専	教授	SHAKHMATOV DMITRI BORISOVICH (61) <令和5年4月> P h. D. (ロシア)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 幾何学概論B【隔年】※ 位相数学特論 幾何学概論A【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平野 幹 (52) <令和5年4月> 博士(数理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ データサイエンス概論※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 代数学概論A【隔年】※ 代数学概論B【隔年】※ 代数学特論
専	教授	松浦 真也 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 データサイエンス概論※ 数理情報基礎※ プログラミング基礎 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 応用数理情報概論A【隔年】※ 応用数理特論
専	教授	山内 貴光 (44) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD インターンシップ 幾何学概論A【隔年】※
専	教授	山崎 義徳 (42) <令和5年4月> 博士(数理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 代数学概論A【隔年】※ 代数学概論B【隔年】※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平野 幹 (52) <令和5年4月> 博士(数理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ データサイエンス概論※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 代数学概論A【隔年】※ 代数学概論B【隔年】※ 代数学特論
専	教授	松浦 真也 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 データサイエンス概論※ 数理情報基礎※ プログラミング基礎 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 応用数理情報概論A【隔年】※ 応用数理特論 応用数理情報概論B【隔年】
専	教授	山内 貴光 (44) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD インターンシップ 幾何学概論A【隔年】※ 幾何学概論B【隔年】 位相数学特論 幾何学特論
専	教授	山崎 義徳 (42) <令和5年4月> 博士(数理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 代数学概論A【隔年】※ 代数学概論B【隔年】※ 応用数理情報概論A【隔年】 応用数理情報概論B【隔年】 代数学特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本田 理恵 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 応用数理情報概論B【隔年】※
専	教授	粟木 久光 (59) <令和5年4月> 理学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 力学特論
専	教授	寺島 雄一 (52) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 高エネルギー天文学【隔年】
専	教授	淵崎 員弘 (62) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 統計物理学特論【隔年】
専	教授	前原 常弘 (56) <令和5年4月> 博士(理学)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 実験・フィールドワークの安全衛生※ 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD インターンシップ 高周波基礎論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本田 理恵 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD プログラミング基礎 応用数理特論
専	教授	粟木 久光 (59) <令和5年4月> 理学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 力学特論
専	教授	寺島 雄一 (52) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 高エネルギー天文学【隔年】
専	教授	淵崎 員弘 (62) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 統計物理学特論【隔年】
専	教授	前原 常弘 (56) <令和5年4月> 博士(理学)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 実験・フィールドワークの安全衛生※ 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD インターンシップ 高周波基礎論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長尾 透 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 銀河宇宙物理学【隔年】
専	教授	鏑本 武久 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 実験・フィールドワークの安全衛生※ 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 進化古生物学A【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	堀(榊原) 利栄 (61) <令和5年4月> 理学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地質学特論A【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	榊原 正幸 (63) <令和5年4月> 理学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長尾 透 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 銀河宇宙物理学【隔年】
専	教授	鏑本 武久 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 実験・フィールドワークの安全衛生※ 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 進化古生物学A【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	堀(榊原) 利栄 (61) <令和5年4月> 理学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地質学特論A【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	榊原 正幸 (63) <令和5年4月> 理学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	郭 新宇 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 大気海洋学 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	亀山 真典 (52) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 固体地球物理学特論B【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	土屋 卓久 (50) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 鉱物物性理論A【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	西原 遊 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球惑星構造学※ 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	郭 新宇 (55) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 大気海洋学 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	亀山 真典 (52) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 固体地球物理学特論B【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	土屋 卓久 (50) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 鉱物物性理論A【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	西原 遊 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球惑星構造学※ 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森本 昭彦 (52) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 海洋力学 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	小原 敬士 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 化学物質管理の基礎知識※ 実験・フィールドワークの安全衛生※ 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 国際学術セミナー 学外特別研修1 学外特別研修2 量子化学特論A 化学反応動力学【隔年】 研究倫理特論
専	教授	座古 保 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 生体分子科学特論
専	教授	高橋 亮治 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 無機固体化学特論A
専	教授	内藤 俊雄 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 固体物性特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	森本 昭彦 (52) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 海洋力学 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	教授	小原 敬士 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 化学物質管理の基礎知識※ 実験・フィールドワークの安全衛生※ 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 国際学術セミナー 学外特別研修1 学外特別研修2 量子化学特論A 化学反応動力学【隔年】 研究倫理特論
専	教授	座古 保 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 生体分子科学特論
専	教授 (研究科長)	高橋 亮治 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 無機固体化学特論A
専	教授	内藤 俊雄 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 固体物性特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	国末 達也 (54) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 環境化学特論
専	教授	井上 幹生 (54) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 水域生態学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	教授	佐藤 康 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 植物機能生理学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	教授	村上 安則 (52) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 進化形態学【隔年】※ 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	教授	岩田 久人 (58) <令和5年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 環境分子毒性学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	国末 達也 (54) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 環境化学特論
専	教授	井上 幹生 (54) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 水域生態学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	教授	佐藤 康 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 植物機能生理学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	教授	村上 安則 (52) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 進化形態学【隔年】※ 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	教授	岩田 久人 (58) <令和5年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 環境分子毒性学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	李 在勲 (49) <令和5年4月> 博士(工学)(韓国)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 知能機械システム学【隔年】 国際交流特別活動
専	准教授	岩本 幸治 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 発展流体力学【隔年】 国際交流特別活動
専	准教授	玉男木 隆之 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 機械振動学【隔年】 国際交流特別活動
専	准教授	朱(橘) 霞(実歩) (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 先端塑性工学特論【隔年】 国際交流特別活動
専	准教授	松浦 一雄 (45) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 計算熱力学【隔年】 国際交流特別活動
専	准教授	松下 正史 (45) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 先端材料学【隔年】 国際交流特別活動
専	准教授	向笠 忍 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ インターンシップ 伝熱工学特論【隔年】 国際交流特別活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	李 在勲 (49) <令和5年4月> 博士(工学)(韓国)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 知能機械システム学【隔年】 国際交流特別活動
専	准教授	岩本 幸治 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 発展流体力学【隔年】 国際交流特別活動
専	准教授	玉男木 隆之 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 機械振動学【隔年】 国際交流特別活動
専	教授	朱(橘) 霞(実歩) (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 先端塑性工学特論【隔年】 国際交流特別活動
専	准教授	松浦 一雄 (45) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 計算熱力学【隔年】 国際交流特別活動
専	教授	松下 正史 (45) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 先端材料学【隔年】 国際交流特別活動
専	准教授	向笠 忍 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ インターンシップ 伝熱工学特論【隔年】 国際交流特別活動

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐々木 秀顕 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ インターンシップ ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ ものづくり工学特論4(金属資源循環工学特論) 材料評価技術概論※
専	准教授	松本 圭介 (36) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 磁性体工学特論※
専	准教授	水口 隆 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 接合工学特論
専	准教授	山室 佐益 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 磁性体工学特論※ 材料評価技術概論※
専	准教授	下元 浩晃 (40) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 インターンシップ ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 高分子化学特論2 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	佐々木 秀顕 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ インターンシップ ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ ものづくり工学特論4(金属資源循環工学特論) 材料評価技術概論※
専	准教授	松本 圭介 (36) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 磁性体工学特論※
専	准教授	水口 隆 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 接合工学特論
専	准教授	山室 佐益 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 磁性体工学特論※ 材料評価技術概論※
専	准教授	下元 浩晃 (40) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 インターンシップ ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 高分子化学特論2 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高島 英造 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1※ 応用化学セミナー2※
専	准教授	高橋 宏隆 (46) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論1※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	准教授	竹田 浩之 (46) <令和5年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論1※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	准教授	野澤 彰 (53) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	准教授	白旗 崇 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 有機化学特論1※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高島 英造 (48) <令和5年4月> 博士(保健学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1※ 応用化学セミナー2※
専	准教授	高橋 宏隆 (46) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論1※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	准教授	竹田 浩之 (46) <令和5年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論1※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	准教授	野澤 彰 (53) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	准教授	白旗 崇 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 有機化学特論1※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山口 修平 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 安全衛生管理概論※ ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 無機化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	准教授	山下 浩 (62) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 分析化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	准教授	片岡 智哉 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 環境動態シミュレーション※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	門田 章宏 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2
専	准教授	河合 慶有 (42) <令和5年4月> P h . D . (シンガポール)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 実践アセットマネジメント 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山口 修平 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 安全衛生管理概論※ ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 無機化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	准教授	山下 浩 (62) <令和5年4月> 工学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 分析化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	准教授	片岡 智哉 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 環境動態シミュレーション※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	河合 慶有 (42) <令和5年4月> P h . D . (シンガポール)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 実践アセットマネジメント 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 アジア防災学セミナーA アジア防災学セミナーB アジア防災学特別実験・実習 地域産業工学概論※ 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木下 尚樹 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 社会基盤デザイン原理 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	倉内 慎也 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 行動科学論 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	羽鳥 剛史 (43) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 公共ガバナンス論 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	二神 透 (60) <令和5年4月> 学術博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	三宅 洋 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 社会基盤学特論※ 生物多様性と人間活動※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	准教授	池田 善久 (45) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 電子回路応用特論※ 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木下 尚樹 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 社会基盤デザイン原理 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	倉内 慎也 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 行動科学論 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	羽鳥 剛史 (43) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 公共ガバナンス論 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	二神 透 (60) <令和5年4月> 学術博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	教授	三宅 洋 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 社会基盤学特論※ 生物多様性と人間活動※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2 工場見学1 工場見学2 地域連携プロジェクト研究1 地域連携プロジェクト研究2
専	准教授	池田 善久 (45) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 電子回路応用特論※ 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	井上 友喜 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 応用数学特論2A 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	准教授	尾崎 良太郎 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 社会基盤学特論※ 高電圧工学特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	准教授	寺迫 智昭 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 半導体デバイス特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	准教授	仲村 泰明 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 最適化数学特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	准教授	本村 英樹 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 電磁気学応用特論 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	准教授	阿萬 裕久 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ソフトウェア工学特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	井上 友喜 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 応用数学特論2A 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	教授	尾崎 良太郎 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 社会基盤学特論※ 高電圧工学特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	教授	寺迫 智昭 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 半導体デバイス特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	准教授	仲村 泰明 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		研究倫理特論 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 最適化数学特論【隔年】 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	准教授	本村 英樹 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 電磁気学応用特論 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2
専	准教授	阿萬 裕久 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ソフトウェア工学特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安藤 和典 (52) <令和5年4月> 博士(数学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 応用数学特論1A 数理情報基礎 応用数学基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	准教授	宇戸 寿幸 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ICT社会論※ 知的情報処理システム特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	准教授	遠藤 慶一 (42) <令和5年4月> 博士(情報学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 システム開発特別演習 分散処理システム特論 発展的ICT総合科目1 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	准教授	岡野 大 (54) <令和5年4月> 博士(情報理工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 数理情報基礎 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 応用数理情報概論B【隔年】※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安藤 和典 (52) <令和5年4月> 博士(数学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 インクルーシブ社会実現に向けて DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 応用数学特論1A 応用数学基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	准教授	宇戸 寿幸 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ICT社会論※ 知的情報処理システム特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	准教授	遠藤 慶一 (42) <令和5年4月> 博士(情報学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 システム開発特別演習 分散処理システム特論 発展的ICT総合科目1 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	准教授	岡野 大 (54) <令和5年4月> 博士(情報理工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 応用数理情報概論B【隔年】※ 応用数理情報概論A【隔年】※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	甲斐 博 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 データサイエンス概論※ DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 情報セキュリティ特論※ 数理情報基礎※ 計算機システム概論A※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 応用数理情報概論A【隔年】※
専	准教授	黒田 久泰 (52) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 システム解析特論 システム開発特別演習 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	准教授	森岡 悠 (38) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 応用数学特論1B 数理情報基礎 応用数学基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	准教授	石川 保志 (63) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 解析学特論 解析学概論A【隔年】※ 解析学概論B【隔年】※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	甲斐 博 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 データサイエンス概論※ DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 情報セキュリティ特論※ 数理情報基礎※ 計算機システム概論A※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 応用数理情報概論A【隔年】※ 応用数理情報概論B【隔年】※
専	准教授	黒田 久泰 (52) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 システム解析特論 システム開発特別演習 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	准教授	森岡 悠 (38) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 応用数学特論1B 応用数学基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	准教授	石川 保志 (63) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 解析学特論 解析学概論A【隔年】※ 解析学概論B【隔年】※ 数理情報基礎 応用数理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大塚 寛 (60) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 応用数理情報概論A【隔年】※
専	准教授	柳 重則 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 解析学概論A【隔年】※ 解析学概論B【隔年】※
専	准教授	石川 勲 (33) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 代数学概論A【隔年】※ 代数学概論B【隔年】※
専	准教授	飯塚 剛 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 電磁気学特論
専	准教授	鍛冶澤 賢 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 国際学術セミナー 学外特別研修1 学外特別研修2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大塚 寛 (60) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 応用数理情報概論A【隔年】※ プログラミング基礎 応用数理特論 応用数理情報概論B【隔年】※
専	准教授	柳 重則 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 解析学概論A【隔年】※ 解析学概論B【隔年】※ 解析学特論
専	准教授	石川 勲 (33) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 代数学概論A【隔年】※ 代数学概論B【隔年】※ 応用数理情報概論A【隔年】※ 応用数理情報概論B【隔年】※
専	准教授	飯塚 剛 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 電磁気学特論
専	准教授	鍛冶澤 賢 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 国際学術セミナー 学外特別研修1 学外特別研修2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小西 健介 (59) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 物性物理学特論【隔年】
専	准教授	中村 正明 (53) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 量子力学特論【隔年】
専	准教授	清水 徹 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 宇宙プラズマ物理学【隔年】
専	准教授	松岡 良樹 (41) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 宇宙物理学特論【隔年】
専	准教授	岡本 隆 (62) <令和5年4月> 理学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 進化古生物学B【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小西 健介 (59) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 物性物理学特論【隔年】
専	准教授	中村 正明 (53) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 量子力学特論【隔年】
専	准教授	清水 徹 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 宇宙プラズマ物理学【隔年】
専	准教授	松岡 良樹 (41) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 宇宙物理学特論【隔年】
専	准教授	岡本 隆 (62) <令和5年4月> 理学博士
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 進化古生物学B【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	楠橋 直 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 国際学術セミナー 学外特別研修1 学外特別研修2 地質学特論B【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	齊藤 哲 (46) <令和5年4月> 博士(環境学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 岩石鉱物特論※ 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	大内 智博 (44) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球惑星構造学※ 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	加 三千宣 (55) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球環境変動学 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	楠橋 直 (46) <令和5年4月> 博士(理学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 国際学術セミナー 学外特別研修1 学外特別研修2 地質学特論B【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	齊藤 哲 (46) <令和5年4月> 博士(環境学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 岩石鉱物特論※ 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	大内 智博 (44) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球惑星構造学※ 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	加 三千宣 (55) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球環境変動学 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	河野 義生 (44) <令和5年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球惑星物性学 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	境 毅 (43) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球惑星物性学 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	土屋 旬 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 鉱物物性理論B【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	奥島 鉄雄 (48) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有機分析化学特論B※ 有機化学特論A【隔年】
専	准教授	島崎 洋次 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD バイオ分析化学特論A【隔年】 バイオ分析化学特論B【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	河野 義生 (44) <令和5年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球惑星物性学 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	境 毅 (43) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球惑星物性学 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	土屋 旬 (47) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 鉱物物性理論B【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	准教授	奥島 鉄雄 (48) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有機分析化学特論B※ 有機化学特論A【隔年】
専	准教授	島崎 洋次 (57) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD バイオ分析化学特論A【隔年】 バイオ分析化学特論B【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高瀬 雅祥 (48) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有機分析化学特論B※ 有機化学特論B【隔年】
専	准教授	山本 貴 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 電子物性化学特論【隔年】
専	准教授	小川 敦司 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 核酸化学特論【隔年】
専	准教授	倉本 誠 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有機分析化学特論A※ 有機化学特論C【隔年】
専	准教授	杉浦(日浅) 美羽 (54) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 生体エネルギー学特論【隔年】
専	准教授	谷 弘幸 (62) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有機分析化学特論A※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高瀬 雅祥 (48) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有機分析化学特論B※ 有機化学特論B【隔年】
専	准教授	山本 貴 (49) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 電子物性化学特論【隔年】
専	准教授	小川 敦司 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 核酸化学特論【隔年】
専	准教授	倉本 誠 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有機分析化学特論A※ 有機化学特論C【隔年】
専	准教授	杉浦(日浅) 美羽 (54) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 生体エネルギー学特論【隔年】
専	准教授	谷 弘幸 (62) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有機分析化学特論A※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	野見山 桂 (43) <令和5年4月> 博士(環境共生学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有害物質動態論【隔年】
専	准教授	佐久間 洋 (57) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 分子機能生物学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	准教授	高田 裕美 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 実験・フィールドワークの安全衛生※ 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 国際学術セミナー 学外特別研修1 学外特別研修2 発生機構学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	准教授	畑 啓生 (47) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 進化生態学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	准教授	北村 真一 (48) <令和5年4月> 博士(水産科学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 水圏微生物学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	野見山 桂 (43) <令和5年4月> 博士(環境共生学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有害物質動態論【隔年】
専	准教授	佐久間 洋 (57) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 分子機能生物学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	准教授	高田 裕美 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 実験・フィールドワークの安全衛生※ 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 国際学術セミナー 学外特別研修1 学外特別研修2 発生機構学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	教授	畑 啓生 (47) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 進化生態学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	准教授	北村 真一 (48) <令和5年4月> 博士(水産科学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 水圏微生物学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	川本 昌紀 (36) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 インターンシップ 応用数学特論2B
専	講師	堤 三佳 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 材料力学特論【隔年】
専	講師	穆 盛林 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 知的制御システム特論【隔年】 修士特別研究1 修士特別研究2
専	講師	水上 孝一 (32) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 数値構造解析学【隔年】
専	講師	石橋 千英 (42) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 分析化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	講師	伊藤 大道 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 高分子化学特論3 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川本 昌紀 (36) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 インターンシップ 応用数学特論2B
専	講師	堤 三佳 (53) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 材料力学特論【隔年】
専	准教授	穆 盛林 (39) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 知的制御システム特論【隔年】 修士特別研究1 修士特別研究2
専	講師	水上 孝一 (32) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学・技術英語 アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 数値構造解析学【隔年】
専	講師	石橋 千英 (42) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 分析化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	講師	伊藤 大道 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 高分子化学特論3 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	太田 英俊 (42) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 有機化学特論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	講師	丸山 泰蔵 (34) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 安全衛生管理概論※ 固体数値シミュレーション※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	講師	井門 俊 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 数理情報基礎 知的コミュニケーション特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	講師	木下 浩二 (48) <令和5年4月> 博士(情報学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 画像処理概論A 画像処理概論B 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	助教	阪本 辰顕 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 材料評価技術概論※ 材料評価技術実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	太田 英俊 (42) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 有機化学特論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	講師	井門 俊 (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 知的コミュニケーション特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	講師	木下 浩二 (48) <令和5年4月> 博士(情報学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 画像処理概論A 画像処理概論B 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	講師	阪本 辰顕 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 材料評価技術概論※ 材料評価技術実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	全 現九 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 材料評価技術概論※ 材料評価技術実習
専	助教	富川 千恵 (45) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物工学特論【隔年】※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	助教	森田 将之 (38) <令和5年4月> 博士(薬学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	助教	山浦 弘之 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 無機化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	助教	小野 耕平 (32) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 防災・減災工学 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	全 現九 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論3(機能材料工学ゼミナール)※ 材料評価技術概論※ 材料評価技術実習
専	助教	富川 千恵 (45) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物工学特論【隔年】※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	助教	森田 将之 (38) <令和5年4月> 博士(薬学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 生物化学特論2※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	助教	山浦 弘之 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)※ ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)※ 無機化学特論※ 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
専	助教	小野 耕平 (32) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 防災・減災工学 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	白柳 洋俊 (35) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 地域マネジメント論※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	助教	坪田 隆宏 (39) <令和5年4月> Ph. D. (オーストラリア)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ システム工学論※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	助教	西川 まどか (43) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 電子回路応用特論※ 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2 デジタル信号処理特論【隔年】
専	助教	一色 正晴 (43) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 画像処理概論A 画像処理・理解特論 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	助教	稲元 勉 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ソフトウェアシステム特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	白柳 洋俊 (35) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ 地域マネジメント論※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	坪田 隆宏 (39) <令和5年4月> Ph. D. (オーストラリア)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 センシングと応用※ システム工学論※ 環境建設工学ゼミナール1 環境建設工学ゼミナール2
専	准教授	西川 まどか (43) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 電子回路応用特論※ 電気電子工学ゼミナール1 電気電子工学ゼミナール2 デジタル信号処理特論【隔年】
専	助教	一色 正晴 (43) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 画像処理概論A 画像処理・理解特論 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	助教	稲元 勉 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ソフトウェアシステム特論 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	王 森岭 (36) <令和5年4月> 博士(情報工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 データサイエンス概論※ インターンシップ DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 計算機システム概論A※ 計算機システム概論B※ 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	助教	藤田 博司 (58) <令和5年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 幾何学概論A【隔年】※ 幾何学概論B【隔年】※ 解析学概論A【隔年】※ 解析学概論B【隔年】※
専	助教	近藤 久雄 (56) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 光物性物理学【隔年】
専	助教	志達(高木) めぐみ (35) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD
専	助教	宮田 竜彦 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 溶液物性基礎論【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	王 森岭 (36) <令和5年4月> 博士(情報工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 データサイエンス概論※ インターンシップ DS/AI活用PBL演習1 DS/AI活用PBL演習2 計算機システム概論A※ 計算機システム概論B※ 数理情報基礎※ 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD
専	助教	藤田 博司 (58) <令和5年4月> 博士(学術)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 数理情報セミナーA 数理情報セミナーB 数理情報セミナーC 数理情報セミナーD 幾何学概論A【隔年】※ 幾何学概論B【隔年】※ 解析学概論A【隔年】※ 解析学概論B【隔年】※ 数理情報基礎 位相数学特論 解析学特論
専	助教	近藤 久雄 (56) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 光物性物理学【隔年】
専	講師	志達(高木) めぐみ (35) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD
専	助教	宮田 竜彦 (51) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 溶液物性基礎論【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	近藤 光志 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD
専	助教	白勢 洋平 (34) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 岩石鉱物特論※ 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	助教	井上 紗綾子 (34) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	助教	GREAUX STEEVE GEORGI (43) <令和5年4月> P h. D. (フランス)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	助教	桑原 秀治 (35) <令和5年4月> 博士(科学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	近藤 光志 (50) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD
専	助教	白勢 洋平 (34) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 岩石鉱物特論※ 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	助教	井上 紗綾子 (34) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	助教	GREAUX STEEVE GEORGI (43) <令和5年4月> P h. D. (フランス)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	助教	桑原 秀治 (35) <令和5年4月> 博士(科学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	出倉 春彦 (41) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 固体地球物理学特論A【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	助教	吉江 直樹 (48) <令和5年4月> 博士(地球環境科学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	助教	垣内 拓大 (41) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 量子化学特論B【隔年】
専	助教	佐藤 文哉 (37) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 無機固体化学特論B【隔年】
専	助教	田上(松下) 瑠美 (35) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	出倉 春彦 (41) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 固体地球物理学特論A【隔年】 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	助教	吉江 直樹 (48) <令和5年4月> 博士(地球環境科学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 地球科学高等実習A 地球科学高等実習B 地球科学高等実習C 地球科学学会発表実習A 地球科学学会発表実習B
専	講師	垣内 拓大 (41) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 量子化学特論B【隔年】
専	助教	佐藤 文哉 (37) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 無機固体化学特論B【隔年】
専	准教授	田上(松下) 瑠美 (35) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	森 重樹 (43) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有機分析化学特論A※ 有機化学特論D【隔年】
専	助教	今田 弓女 (34) <令和5年4月> 博士(人間・環境学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	助教	金田 剛史 (53) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 植物細胞機能構造学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	助教	福井 眞生子 (40) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 進化形態学【隔年】※ 生物学課題実験A 生物学課題実験B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	森 重樹 (43) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 有機分析化学特論A※ 有機化学特論D【隔年】
専	助教	加藤 大貴 (36) <令和5年4月> 博士(生命科学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 生物学課題実験A 生物学課題実験B 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD
専	助教	金田 剛史 (53) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 植物細胞機能構造学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	講師	福井 眞生子 (40) <令和5年4月> 博士(理学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 進化形態学【隔年】※ 生物学課題実験A 生物学課題実験B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	仲山 慶 (48) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 生物情報学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
兼任	教授	佐藤 哲 (67) <令和5年4月> 理学博士
		SDG s 概論※
兼任	教授	鈴木 静 (51) <令和5年4月> 修士(地域政策)※
		SDG s 概論※
兼任	教授	西村 勝志 (64) <令和5年4月> 経営学修士※
		SDG s 概論※
兼任	教授	前田 眞 (70) <令和5年4月> 工学士
		SDG s 概論※
兼任	教授	竹葉 淳 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		化学物質管理の基礎知識※
兼任	教授	東山 繁樹 (63) <令和5年4月> 博士(医学)
		生物化学研究方法論1※ 生物化学研究方法論2※
兼任	教授	増本 純也 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		生物化学研究方法論1※ 生物化学研究方法論2※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	仲山 慶 (48) <令和5年4月> 博士(農学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 高等セミナーA 高等セミナーB 高等セミナーC 高等セミナーD 生物情報学【隔年】 生物学課題実験A 生物学課題実験B
専	助教	吉村 彩 (40) <令和5年4月> 博士(工学)
		アカデミックプレゼンテーション 修士特別研究1 修士特別研究2 ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1) ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2) 有機化学特論1 海外短期留学 応用化学特別演習1 応用化学特別演習2 応用化学セミナー1 応用化学セミナー2
兼任	教授	佐藤 哲 (67) <令和5年4月> 理学博士
		SDG s 概論※
兼任	教授	鈴木 静 (51) <令和5年4月> 修士(地域政策)※
		SDG s 概論※
兼任	教授	西村 勝志 (64) <令和5年4月> 経営学修士※
		SDG s 概論※
兼任	教授	前田 眞 (70) <令和5年4月> 工学士
		SDG s 概論※
兼任	教授	竹葉 淳 (53) <令和5年4月> 博士(医学)
		化学物質管理の基礎知識※
兼任	教授	東山 繁樹 (63) <令和5年4月> 博士(医学)
		生物化学研究方法論1※ 生物化学研究方法論2※
兼任	教授	増本 純也 (56) <令和5年4月> 博士(医学)
		生物化学研究方法論1※ 生物化学研究方法論2※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今井 祐記 (48) <令和5年4月> 博士(医学)
		生物化学研究方法論1※ 生物化学研究方法論2※
兼任	教授	小林 修 (55) <令和5年4月> 博士(農学)
		SDGs 概論※
兼任	准教授	竹下 浩子 (48) <令和5年4月> 修士(家政学)
		SDGs 概論※
兼任	准教授	丸山 智子 (53) <令和5年4月> 博士(学術)
		リーダーシップの理論と実践 プロジェクトマネジメント概論
兼任	准教授	田中 守 (63) <令和5年4月> 博士(薬学)
		化学物質管理の基礎知識※
兼任	助教	浜井 盟子 (64) <令和5年4月> 博士(医学)
		化学物質管理の基礎知識※
兼任	講師	西岡 潔 (71) <令和5年4月> 博士(学術)
		MOT特論
兼任	講師	松島 理 (60) <令和5年4月> 工学修士
		知的財産権特論
兼任	講師	磯 寿生 (53) <令和5年4月> 学士(第2類行政法学)
		ICT社会論※
兼任	講師	中屋敷 安則 (57) <令和5年4月> 学士(経済学)
		ICT社会論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今井 祐記 (48) <令和5年4月> 博士(医学)
		生物化学研究方法論1※ 生物化学研究方法論2※
兼任	教授	小林 修 (55) <令和5年4月> 博士(農学)
		SDGs 概論※
兼任	准教授	竹下 浩子 (48) <令和5年4月> 修士(家政学)
		SDGs 概論※
兼任	准教授	丸山 智子 (53) <令和5年4月> 博士(学術)
		リーダーシップの理論と実践 プロジェクトマネジメント概論
兼任	准教授	田中 守 (63) <令和5年4月> 博士(薬学)
		化学物質管理の基礎知識※
兼任	助教	浜井 盟子 (64) <令和5年4月> 博士(医学)
		化学物質管理の基礎知識※
兼任	講師	上月 翔太 (37) <令和5年4月> 修士(文学)
		インクルーシブ社会実現に向けて
兼任	講師	西岡 潔 (71) <令和5年4月> 博士(学術)
		MOT特論
兼任	講師	松島 理 (60) <令和5年4月> 工学修士
		知的財産権特論
兼任	講師	磯 寿生 (53) <令和5年4月> 学士(第2類行政法学)
		ICT社会論※
兼任	講師	中屋敷 安則 (57) <令和5年4月> 学士(経済学)
		ICT社会論※

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	溝上 昌洋 (58) ＜令和5年4月＞ 高等専門学校卒
		ICT社会論※
兼任	講師	小笠原 通晴 (59) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒
		ICT社会論※
兼任	講師	日野 泰臣 (58) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒
		ICT社会論※
兼任	講師	杉野 昇 (52) ＜令和5年4月＞ 学士(工学)
		サイバーセキュリティ特論
兼任	講師	坂口 裕樹 (62) ＜令和5年4月＞ 工学博士
		機能材料工学特別講義1
兼任	講師	田村 真治 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		機能材料工学特別講義2
兼任	講師	松英 達也 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端複合材料特論
兼任	講師	平澤 英之 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		材料機能設計学特論
兼任	講師	清水 明宏 (64) ＜令和5年4月＞ 工学博士
		情報セキュリティ特論※
兼任	講師	岡本 龍明 (70) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		情報セキュリティ特論※
兼任	講師	榊原 勝己 (60) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		デジタル通信特論

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	溝上 昌洋 (58) ＜令和5年4月＞ 高等専門学校卒
		ICT社会論※
兼任	講師	杉野 昇 (52) ＜令和5年4月＞ 学士(工学)
		サイバーセキュリティ特論
兼任	講師	坂口 裕樹 (62) ＜令和5年4月＞ 工学博士
		機能材料工学特別講義1
兼任	講師	田村 真治 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		機能材料工学特別講義2
兼任	講師	松英 達也 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		先端複合材料特論
兼任	講師	平澤 英之 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		材料機能設計学特論
兼任	講師	清水 明宏 (64) ＜令和5年4月＞ 工学博士
		情報セキュリティ特論※
兼任	講師	岡本 龍明 (70) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		情報セキュリティ特論※
兼任	講師	榊原 勝己 (60) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		デジタル通信特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	仲田 利通 (69) <令和5年4月> 博士(工学)
		ものづくり工学特論1(機械工学特別講義1) ものづくり工学特論2(機械工学特別講義2)
兼任	講師	勝田 順一 (67) <令和5年4月> 博士(工学)
		地域産業工学概論※ 安全工学概論
兼任	講師	今井 裕 (51) <令和5年4月> 博士(理学)
		電波干渉計特論
兼任	講師	半田 利弘 (64) <令和5年4月> 理学博士
		銀河電波天文学特論
兼任	講師	高橋 慶太郎 (45) <令和5年4月> 博士(理学)
		宇宙物理学 1
兼任	講師	檜垣 勇次 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用化学特別講義1
兼任	講師	町田 正人 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用化学特別講義2
兼任	講師	入江 崇 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用化学特別講義3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	仲田 利通 (69) <令和5年4月> 博士(工学)
		ものづくり工学特論1(機械工学特別講義1) ものづくり工学特論2(機械工学特別講義2)
兼任	講師	勝田 順一 (67) <令和5年4月> 博士(工学)
		地域産業工学概論※ 安全工学概論
兼任	講師	今井 裕 (51) <令和5年4月> 博士(理学)
		電波干渉計特論
兼任	講師	半田 利弘 (64) <令和5年4月> 理学博士
		銀河電波天文学特論
兼任	講師	高橋 慶太郎 (45) <令和5年4月> 博士(理学)
		宇宙物理学 1
兼任	講師	檜垣 勇次 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用化学特別講義1
兼任	講師	町田 正人 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用化学特別講義2
兼任	講師	入江 崇 (49) <令和5年4月> 博士(工学)
		応用化学特別講義3

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実))、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・新科目の追加のため、黄木 景二教授を「インクルーシブ社会実現に向けて」の担当教員に追加
- ・教員配置の見直しのため、板垣 吉晃教授を「機能材料工学特別講義1」「機能材料工学特別講義2」の担当に変更
- ・教員配置の見直しのため、井堀 春夫教授を「機能材料工学特別講義1」「機能材料工学特別講義2」の担当なし
- ・令和5年3月、安原 英明教授辞任
- ・教育課程の充実のため、尾園 新一教授を「代数学概論A」「代数学概論B」「幾何学概論A」「幾何学概論B」の担当に追加
- ・教育課程の充実のため、SHAKHMATOV DMITRI BORISOVICH教授を「幾何学概論A」の担当に追加
- ・教育課程の充実のため、松浦 真也教授を「応用数理解情報概論B」の担当に追加
- ・教育課程の充実のため、山内 貴光教授を「幾何学概論B」「位相数学特論」「幾何学特論」の担当に追加
- ・教育課程の充実のため、山崎 義徳教授を「応用数理解情報概論A」「応用数理解情報概論B」「代数学特論」の担当に追加
- ・教員等の配置の見直しのため、本田 理恵教授を「応用数理解情報概論B」の担当なし、「プログラミング基礎」「応用数理解特論」の担当に追加
- ・昇任のため、李 在勲准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、朱(橘) 霞(実歩) 准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、松下 正史准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・令和5年1月、門田 章宏准教授辞任
- ・昇任のため、三宅 洋准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、尾崎 良太郎准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、寺迫 智昭准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、安藤 和典准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更。新科目の追加のため、「インクルーシブ社会実現に向けて」の担当教員に追加。教員配置の見直しのため、「数理解情報基礎」の担当なし
- ・教員配置の見直しのため、岡野大准教授を「応用数理解情報概論A」の担当に追加、「数理解情報基礎」の担当なし
- ・教育課程の充実のため、甲斐博准教授を「応用数理解情報概論B」の担当に追加
- ・教員配置の見直しのため、森岡悠准教授を「数理解情報基礎」の担当なし
- ・教育課程の充実のため、石川 保志准教授を「数理解情報基礎」「応用数理解特論」の担当に追加
- ・教育課程の充実のため、大塚 寛准教授を「プログラミング基礎」「応用数理解特論」「応用数理解情報概論B」の担当に追加
- ・教育課程の充実のため、柳 重則准教授を「解析学特論」の担当に追加
- ・教育課程の充実のため、石川 勲准教授を「応用数理解情報概論A」「応用数理解情報概論B」の担当に追加
- ・昇任のため、畑 啓生准教授の職名を「准教授」から「教授」に変更
- ・昇任のため、川本 昌紀講師の職名を「講師」から「准教授」に変更
- ・昇任のため、穆 盛林講師の職名を「講師」から「准教授」に変更
- ・令和5年3月、丸山 泰蔵講師辞任
- ・教員配置の見直しのため、井門俊講師を「数理解情報基礎」の担当なし
- ・昇任のため、阪本 辰顕助教の職名を「助教」から「講師」に変更
- ・昇任のため、坪田 隆宏助教の職名を「助教」から「准教授」に変更
- ・昇任のため、西川 まどか助教の職名を「助教」から「准教授」に変更
- ・教育課程の充実のため、藤田 博司助教を「数理解情報基礎」「位相数学特論」「解析学特論」の担当に追加
- ・昇任のため、志達(高木) めぐみ助教の職名を「助教」から「講師」に変更
- ・昇任のため、埴内 拓大助教の職名を「助教」から「講師」に変更
- ・昇任のため、田上(松下) 瑠美助教の職名を「助教」から「准教授」に変更
- ・令和5年3月、今田 弓矢助教辞任
- ・教育課程の充実のため、加藤 大貴助教を「アカデミックプレゼンテーション」「修士特別研究1」「修士特別研究2」「生物学課題実験A」「生物学課題実験B」「高等セミナーA」「高等セミナーB」「高等セミナーC」「高等セミナーD」の担当に追加
- ・昇任のため、福井 眞生子助教の職名を「助教」から「講師」に変更
- ・教育課程の充実のため、吉村彩助教を「アカデミックプレゼンテーション」「修士特別研究1」「修士特別研究2」「ものづくり工学特論5(応用化学の最先端1)」「ものづくり工学特論6(応用化学の最先端2)」「有機化学特論1」「海外短期留学」「応用化学特別演習1」「応用化学特別演習2」「応用化学セミナー1」「応用化学セミナー2」の担当教員に追加
- ・新科目の追加のため、上月 翔太講師を「インクルーシブ社会実現に向けて」の担当教員に追加
- ・教員等の配置の見直しのため、磯 寿生講師を「ICT社会論」の担当なし
- ・教員等の配置の見直しのため、中屋敷 安則講師を「ICT社会論」の担当なし
- ・教員等の配置の見直しのため、小笠原 通晴講師を「ICT社会論」の担当なし
- ・教員等の配置の見直しのため、日野 泰臣講師を「ICT社会論」の担当なし

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A・C教員審査)を受けてください。**A・C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ A・C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
36	24	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
75	72	10	31	188	0	82	68	11	25	186	0
(82)	(68)	(11)	(25)	(186)	(0)						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
163	75	25	0			163	82	23	0		
(163)	(82)	(23)	(0)			(163)	(82)	(23)	(0)		
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
82	68	11	25	186	0	82	68	11	25	186	0
[7]	[4]	[Δ1]	[Δ6]	[Δ2]	[0]	[7]	[4]	[Δ1]	[Δ6]	[Δ2]	[0]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
163	82	23	0			163	82	23	0		
[0]	[7]	[Δ2]	[0]			[0]	[7]	[Δ2]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B)の教員のうち、定年を延長して採用している教員数)	完成年度時(上記(C)の教員のうち、定年を延長して採用する教員数)
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{186}{188} = \boxed{98.93} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{186} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	助教	今田 弓女	R5.3	必修	アカデミックプレゼンテーション	①	R5.4.1付け他大学へ採用のため就任辞退（5）			
				必修	修士特別研究1	①				
				必修	修士特別研究2	①				
				選択	高等セミナーA	①				
				選択	高等セミナーB	①				
				選択	高等セミナーC	①				
				選択	高等セミナーD	①				
				選択	生物学課題実験A	①				
2	教授	安原 英明	R5.3	必修	科学・技術英語	①	R5.4.1付け他大学へ採用のため就任辞退（5）			
				必修	アカデミックプレゼンテーション	①				
				必修	修士特別研究1	①				
				必修	修士特別研究2	①				
				選択	社会基盤デザイン原理	①				
				選択	環境建設工学ゼミナール1	①				
				選択	環境建設工学ゼミナール2	①				
				選択	アジア防災学セミナーA	①				
3	准教授	門田 章宏	R5.1	必修	アカデミックプレゼンテーション	①	R5.1.1付け早期退職のため就任辞退（5）			
				必修	修士特別研究1	①				
4	講師	丸山 泰蔵	R5.3	必修	アカデミックプレゼンテーション	①	R5.4.1付け他大学へ採用のため就任辞退（5）			
				必修	修士特別研究1	①				
				必修	修士特別研究2	①				
				選択	安全衛生管理概論※	①				
				選択	固体数値シミュレーション※	①				
				選択	環境建設工学ゼミナール1	①				
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
4	人	必修	13	科目	必修	13	科目	必修	0	科目
		選択	16	科目	選択	16	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	29	科目	計	29	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
該当なし										
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
4	人	必修	13 科目	必修	13 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	16 科目	選択	16 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	29 科目	計	29 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{4}{188} = \boxed{2.12} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・ 今田弓女助教のやむを得ない退職(令和5年3月)にあたり、担当授業科目について、代替の専任教員が担当することとしている。なお、学生へはシラバス・時間割により周知している。

・ 安原英明教授のやむを得ない退職(令和5年3月)にあたり、担当授業科目について、代替の専任教員が担当することとしている。なお、学生へはシラバス・時間割により周知している。

・ 門田章宏准教授のやむを得ない退職(令和5年1月)にあたり、担当授業科目について、代替の専任教員が担当することとしている。なお、学生へはシラバス・時間割により周知している。

・ 丸山泰蔵講師のやむを得ない退職(令和5年3月)にあたり、担当授業科目について、代替の専任教員が担当することとしている。なお、学生へはシラバス・時間割により周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
	<h1>該当なし</h1>			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院理工学研究科理工学専攻（博士前期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div data-bbox="292 546 1016 741" style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="font-size: 2em; margin: 0;">該当なし</p> </div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

1. 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)教育コーディネーター会議
2. 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)学生支援委員会
3. 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)研究コーディネーター会議
4. 愛媛大学大学院理工学研究科(工学系)教育コーディネーター会議
5. 愛媛大学大学院理工学研究科(工学系)学生支援委員会
6. 愛媛大学大学院理工学研究科(工学系)研究コーディネーター会議

1. 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)教育コーディネーター会議規程（平成16年4月1日制定） (設置)

第1条 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)に、愛媛大学理学部及び理工学研究科博士前期課程理工学専攻自然科学基盤プログラム、同専攻数理情報プログラムの学生、同研究科博士後期課程所属の学生のうち前2プログラムに対応する専門分野の教育に関する事項を企画、審議及び実施するため、愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)教育コーディネーター会議(以下「教育コーディネーター会議」という。)を置く。

(職務)

第2条 教育コーディネーター会議は、次の各号に掲げる事項について企画、審議及び実施する。

- (1) カリキュラムに関すること。
- (2) 授業の実施状況の調査及び分析に関すること。
- (3) 教員の教授能力の向上及び教員組織の教育機能の向上のための取組に関すること。
- (4) 教育プロジェクト、Eラーニング推進、教育ガイダンス及び新入生セミナーに関すること。
- (5) FD・教育活動のデータ収集及び分析に関すること。
- (6) その他教育に関すること。

(組織)

第3条 教育コーディネーター会議は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

(1)教育コーディネーター（理工学研究科統括教育コーディネーターを除く。）

(2)共通教育センター会議委員 1人(議長)

第4条 教育コーディネーター会議に議長を置き、理学部統括教育コーディネーターをもって充てる。

2 議長は、教育コーディネーター会議を招集する。

(議事)

第5条 教育コーディネーター会議は、構成員の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(構成員以外の者の出席)

第6条 議長が必要と認めるときは、構成員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(ワーキンググループ)

第7条 教育コーディネーター会議に、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

(事務)

第8条 教育コーディネーター会議の事務は、理学部事務課において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、教育コーディネーター会議の運営に関し必要な事項は、教育コーディネーター会議が定める。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

2 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）FD委員会規程（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

3 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）Eラーニング推進委員会規程（平成21年5月21日制定）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2. 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）学生支援委員会規程（平成16年4月1日制定）

(設置)

第1条 第1条愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）に、愛媛大学理学部及び理工学研究科

博士前期課程理工学専攻自然科学基盤プログラム、同専攻数理情報プログラムの学生、同研究科博士後期課程所属の学生のうち前2プログラムに対応する専門分野の学生が勉学意欲を高め健康な生活を送るために必要な事項を企画、審議及び実施するため、愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）学生支援委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(職務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について企画、審議及び実施する。

(1)健康管理、カウンセリング、課外活動その他福利厚生に関すること。

(2)奨学金、授業料免除その他生活支援に関すること。

(3)履修指導、進路相談その他学習支援に関すること。

(4)学生の賞罰に関すること。

(5)教育懇談会、学生モニター会議及び学生支援講演会に関すること。

(6)学生支援活動のデータ収集及び分析に関すること。

(7)その他学生支援に関すること。

2 前項各号に係る事案のうち、理工学研究科（工学系）の教員を主指導教員とする学生に係るものについては、原則として、理工学研究科（工学系）の委員会で取り扱うものとする。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1) 理工学研究科理学系長（以下「理学系長」という。）が指名する理学系長補佐室会議の構成員 1人

(2) 統括教育コーディネーターが指名する教育コーディネーター 1人

(3) 理学系長が指名する教員 若干人

2 前項第2号の委員は、第1号の委員が兼ねることができるものとし、この場合にあつては委員の補充は行わないものとする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、当該委員の任期の末日は、当該委員を指名した理学系長の任期の末日とする。

第4条 委員会に委員長を置き、委員のうちから理学系長が指名する。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(議事)

第5条 委員会は、委員（次条に規定する代理者を含む。以下この条において同じ。）の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(代理者)

第6条 第3条第1項第3号の委員がやむを得ない事由により出席できないときは、代理者を委員として出席させることができる。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(ワーキンググループ)

第8条 委員会に、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、理学部事務課において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

令和5年3月31日に研究科に在籍する者に係る取り扱いについては、なお従前の例による。

3. 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)研究コーディネーター会議内規 (平成27年4月1日制定)

(設置)

第1条 愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)に、愛媛大学先端研究・学術推進機構学術研究会議規程第8条第1項の規定に基づき、愛媛大学理学部及び愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)の学術研究推進に関する事項を企画、審議及び実施するため、愛媛大学大学院理工学研究科(理学系)研究コーディネーター会議(以下「研究コーディネーター会議」という。)を置く。

(職務)

第2条 研究コーディネーター会議は、次の各号に掲げる事項について企画、審議及び実施する。

(1) 研究プロジェクト及び科学研究費その他外部資金の獲得に関すること。

(2) 理学部卒業研究発表会の実施に関すること。

(3) 愛媛大学理学部紀要の編集及び出版に関すること。

(4) 研究業績データの収集及び分析に関すること。

(5) その他学術研究に関すること。

(組織)

第3条 研究コーディネーター会議は、研究コーディネーターをもって組織する。

(議長)

第4条 研究コーディネーター会議に議長を置き、統括研究コーディネーターをもって充てる。

2 議長は、研究コーディネーター会議を招集する。

(議事)

第5条 研究コーディネーター会議は、構成員の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。

2 議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(構成員以外の者の出席)

第6条 議長が必要と認めるときは、構成員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(ワーキンググループ)

第7条 研究コーディネーター会議に、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。

(事務)

第8条 研究コーディネーター会議の事務は、理学部事務課において処理する。

(雑則)

第9条 この内規に定めるもののほか、研究コーディネーター会議の運営に関し必要な事項は、研究コーディネーター会議が定める。

附則

1 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

2 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）学術研究委員会要項（平成18年10月26日制定）は、廃止する。

3 愛媛大学理工学研究科（理学系）紀要編集委員会内規（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

附則

この内規は、平成31年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

令和5年3月31日に研究科に在学する者に係る取り扱いについては、なお従前の例による。

4. 愛媛大学工学部・理工学研究科（工学系）教育コーディネーターに関する内規

平成21年4月1日
制 定

(設置)

第1条 愛媛大学教育コーディネーター規程第1条の規定に基づき、愛媛大学工学部・理工学研究科（工学系）に、教育コーディネーターを置く。

(業務)

第2条 教育コーディネーターは、工学部・理工学研究科（工学系）における教育改善及び教育機能の向上に係る諸課題を調査研究し、及び中長期的な視点により次の各号に掲げる業務を行う。

(1) 教育システムに係る企画・立案に関すること。

(2) 修学・学生生活支援に必要な施策の企画・立案に関すること。

(3) 大学教育の質の保証及び向上のための施策の企画・立案に関すること。

(4) その他教育改善及び教育機能の向上のための施策の企画・立案に関すること。

(組織)

第3条 教育コーディネーター（理工学研究科統括教育コーディネーターを除く。）は、次の各号に掲げる者及び第2項に規定する者で、学長が任命したものとす。

(1) 副学部長（教育担当）

(2) 各講座の教授及び准教授のうちから、当該講座長が工学系長に推薦した者 各1人

2 博士前期課程のアジア防災学特別プログラム及び地域エンジニア養成プログラムのうち当該特別プログラムが必要と認めるときは、教育コーディネーターを置くことができる。この場合において、当該特別プログラム長は、当該特別プログラムの教育を担当する教授及び准教授のうちから1人を工学系長に推薦するものとする。

3 教育コーディネーターの業務を統括するため、工学部統括教育コーディネーターを置き、副工学系長（教育担当）をもって充てる。

4 工学部統括教育コーディネーターが行う業務を補佐するため、工学部統括教育コーディネーター補佐を置き、教育コーディネーターのうちから工学部統括教育コーディネーターが指名する。

(任命及び任期)

第4条 教育コーディネーターの任命及び任期は、愛媛大学教育コーディネーター規程第5条第1号及び第6条の定めるところによる。

2 前項の規定にかかわらず、前条第1項第1号に規定する者の任期は、当該副工学系長の任期とする。

(教育コーディネーター会議)

第5条 第2条に規定する業務を行うため、教育コーディネーター会議（以下「会議」という。）を置き、次の各号に掲げる者をもって組織する。

(1) 第3条第1項及び第2項に規定する各教育コーディネーター（理工学研究科統括教育コーディネーターを除く。）

(2) その他議長が必要と認めたる者

2 会議に議長を置き、工学部統括教育コーディネーターをもって充てる。

3 議長は、会議を招集し、主宰する。

4 議長に事故があるときは、工学部統括教育コーディネーター補佐が議長の職務を代行する。

(雑則)

第6条 この内規に定めるもののほか、教育コーディネーターに関し必要な事項は、工学系長が定める。

附則

この内規は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この内規は、平成31年4月1日から施行する。

附則

この内規は、令和5年1月25日から施行し、令和5年4月1日から適用する。

5. 愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）の各種委員会に関する規程

平成18年4月1日
制 定

第1条 この規程は、愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）（愛媛大学工学部を含む。以下「研究科（工学系）」という。）に、研究科（工学系）に係る特定の事項（愛媛大学の諸規則に基づくものを含む。）について審議及び実施するため、愛媛大学大学院理工学研究科工学系会議又は工学系運営委員会の下に委員会を置き、当該委員会に関し必要な事項を定める。

第2条 研究科（工学系）に置く委員会については、別表のとおりとする。

附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、愛媛大学工学部自己点検評価委員会内規（平成16年4月1日制定）、愛媛大学工学部教員個人評価実施委員会内規（平成16年6月17日制定）、愛媛大学工学部安全衛生委員会内規（平成16年5月20日制定）、愛媛大学工学部遺伝子組換え実験安全委員会内規（平成16年4月1日制定）、愛媛大学工学部教務学生委員会内規（平成16年4月1日制定）、愛媛大学工学部入試委員会内規（平成17年4月1日制定）、愛媛大学工学部広報委員会内規（平成16年4月1日制定）、愛媛大学工学部情報セキュリティ委員会内規（平成16年6月17日制定）、愛媛大学工学部就職指導委員会内規（平成16年4月1日制定）、愛媛大学工学部FD委員会内規（平成16年4月1日制定）、及び愛媛大学工学部入学者選抜試験合否判定方法調査検討委員会に関する申合せ（平成16年4月1日制定）は、廃止する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年2月17日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）中期計画・年度計画委員会規程（平成18年4月20日制定）、愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）大学認証評価委員会規程（平成18年5月18日制定）、愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）建物委員会規程（平成21年4月1日制定）及び愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）国際連携委員会規程（平成22年10月21日制定）は、廃止する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

別表(第2条関係)	委員会名	設置・目的	審議事項等	組織	委員任期	委員の再任	委員長・部長	議事要件等	委員以外の者の出席	常置の専門委員会	専門委員会	他の委員会等の関連	事務	審判	最近改正
愛媛大学大学院理工学研究科(工学系)	学生支援委員会	愛媛大学学部学生生活委員会規程第3条の規定に基づき、研究科(工学系)に置く。	1. 研究科(工学系)における学生生活に関する次の各号に掲げる事項を審議する。 (1) 学生の保健衛生及び福利厚生に関する事項 (2) 学生の課外活動及び自治活動に関する事項 (3) 学生の賞罰に関する事項 (4) その他学生の指導に関する必要な事項 2. 新卒各号に係る事項のうち、原則として、理工学研究科(工学系)の教員を主指導教員とする学生に係るものについては、理工学研究科(工学系)の委員会を取り扱うものとする。	(1) 工学系長が指名する工学系長・工学部長補佐室構成員1人 (2) 各講座長	2年 委員欠員の場合の任期は、前任者の残任期間 ○委員長任期は1年(再任可)	可	(1) 工学系長が指名する工学系長・工学部長補佐室構成員(1)の委員	委員全員出席 委員欠席は、代理者	説明又は意見聴取は可		必要に依り専門委員会を置くことができる。 専門委員会に関する事項は、委員会が定める。		工学部事務課(教育支援課工学部チーム)	委員会が定める。	RS.4.1

6. 愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）研究コーディネーターに関する内規

平成21年5月28日
制 定

（設置）

第1条 愛媛大学研究コーディネーター規程第1条の規定に基づき、教員の研究活動を支援し、愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）（以下「工学系」という。）の学術研究の推進及び研究成果を活用した産学官連携の推進に資することを目的として、工学系に、研究コーディネーターを置く。

（業務）

第2条 研究コーディネーターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 学術研究の高度化及び活性化に関すること。
- (2) 研究プロジェクトの推進に関すること。
- (3) 学内外研究者間の共同研究の可能性を探索する方策に係る助言に関すること。
- (4) 外部資金への応募を進めるための方策に関すること。
- (5) 外部資金獲得を目指した研究内容の外部への情報提供に関すること。
- (6) 研究成果を活用した産学官連携の推進に関すること。
- (7) その他研究機能の向上に関すること。

（組織）

第3条 研究コーディネーターは、次の各号に掲げる者で、学長が任命したものとする。

- (1) 副工学系長（研究担当）
 - (2) 各コースの教授及び准教授のうちから、当該コース長が工学系長に推薦した者 各1人
- 2 研究コーディネーターの業務を統括するため、統括研究コーディネーターを置き、副工学系長（研究担当）をもって充てる。
（任命及び任期）

第4条 研究コーディネーターの任命及び任期は、愛媛大学研究コーディネーター規程第5条第1号及び第7条の定めるところによる。

2 前項の規定にかかわらず、前条第1項第1号に規定する者の任期は、当該副工学系長の任期とする。

（研究コーディネーター会議）

第5条 第2条に規定する業務について協議及び連絡調整し、並びに学術研究推進（科学研究費をはじめとする外部資金獲得の拡大を含む。）及び産学官連携推進のための諸方策について審議し、実施するため、研究コーディネーター会議を置き、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 第3条第1項に規定する各研究コーディネーター
 - (2) その他議長が必要と認めたる者
- 2 会議に議長を置き、統括研究コーディネーターをもって充てる。
3 議長は、会議を招集し、主宰する。

（雑則）

第6条 この内規に定めるもののほか、研究コーディネーターに関し必要な事項は、工学系長が定める。

附 則

この内規は、平成21年5月28日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

1. 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）教育コーディネーター会議
（令和4年度10回開催、参加状況：各回とも全員参加／構成員6名）
2. 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）学生支援委員会
（令和4年度3回開催、参加状況：各回とも全員参加／構成員5名）
3. 愛媛大学大学院理工学研究科（理学系）研究コーディネーター会議
（令和4年度5回開催、参加状況：各回とも全員参加／構成員6名）
4. 愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）教育コーディネーター会議
（令和4年度6回開催、構成員8名）
5. 愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）学生支援委員会
（令和4年度2回開催、構成員7名）
6. 愛媛大学大学院理工学研究科（工学系）研究コーディネーター会議
（令和4年度2回開催、構成員7名）

c 委員会の審議事項等

1. 学部などのFD（Faculty Development）に関する事項
2. 学生の厚生、指導、身分に関する事項
3. 科学研究費を中心として外部資金獲得に関する事項
4. 教育課程に関する事項
5. 学生の厚生、課外活動、指導に関する事項
6. 学術研究の高度化及び活性化に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

1. 理学部FD講演会
2. 学生の厚生、指導、身分に関する事項
3. 科研費の出願状況の把握と奨励
4. 工学部FD講演会
5. 学生の厚生、課外活動、指導に関する事項
6. 科学研究費をはじめとする外部資金獲得の推進及び産学官連携推進スペースの有効活用に関する事項

b 実施方法

各委員会が中心となり、関係部署と連携し実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 理学部FD講演会「令和5年度からの大学院授業について」
理工学研究科のカリキュラムが変更され、新たな共通科目等が導入されるため、今年度のFD研修会として、大学院新カリキュラムの説明会を実施した。
2. 学生モニター会議
1学科（コース）・1学年あたり3～4名の学生モニターをまず学科（コース）ごとに集め、履修や環境など大学生活に関する意見や要望を収集。その後、学部全体で集まって、教員サイドからの回答を伝える。教員としては、学部長・教育コーディネーター・学生支援委員らが出席。
3. 科研費の出願状況の把握と奨励
各コースの研究コーディネーターが科研費の申請状況・内容を確認し、ブラッシュアップを実施して申請を奨励した。
4. 工学部FD講演会「学修ポートフォリオシステムを活用した学生指導法について」
令和4年度後学期から学修ポートフォリオシステムの試行運用がスタートすることに伴い、具体的な運用方法について審議した。
5. 学生の保健衛生及び福利厚生に関する事項
コロナ禍における学生指導や令和4年度愛媛大学工学部学生研究プロジェクトの継続申請など学生支援について審議した。
6. 科学研究費をはじめとする外部資金獲得の拡大に関する事項
各コースの研究コーディネーターが科学研究費の申請状況・内容を確認し、ブラッシュアップを実施して申請を奨励した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD講演会やモニター会議、授業評価アンケート等の内容を踏まえ、各教員が授業改善に取り組んでいる。理学系においては、モニター会議等の要望を踏まえ、コモンルーム什器を追加し、充実させた。また、総合研究棟Ⅰのベランダの鳩のフン害対策について要望を受け、鳩よけネットを設置し、教育・研究環境の改善を行うなど、就学環境の改善を行った。コロナ感染対策等に関して、食事ができる場所の一覧が欲しい旨要望があり、定期的に通知することとした。また、Formsで提出する健康観察を提出した際のフィードバックが欲しい旨要望があり、回答した際、確認メールを受領できるようにした。工学系においては、授業評価アンケート等の要望を踏まえ、就学環境の改善を行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

専攻共通科目等で授業評価アンケートの実施を検討する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートを集計した後、授業担当者にフィードバックすることを検討する。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を実施するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年8月頃 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けたため、令和10年度までに受審を予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他（ ）]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。